



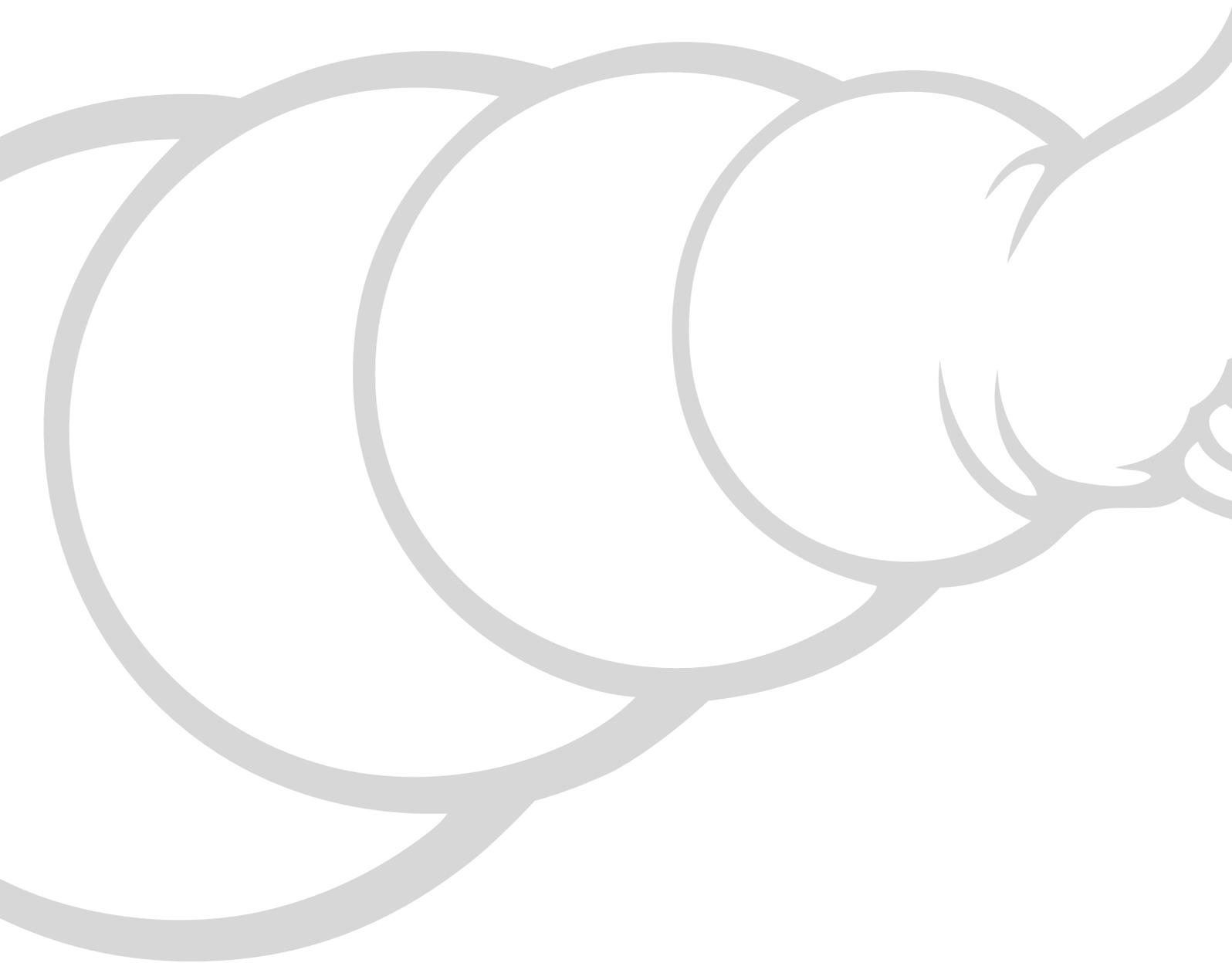
**METIERS
REFERENCES**

ミシュラン 購買原則

グループ購買

2017年版





目次

はじめに

04

ミシュランの原則と価値観

06

ミシュランの購買原則

08

- 使命
- 義務: サプライヤーリレーションシップにおける倫理規定と腐敗防止に関する行動規範
- サプライヤーの審査と認可
- クオリティ
- サプライヤーリレーションシップマネジメント(SRM)
- 業務継続マネジメント(BCM)
- 弊社のCSR政策『ミシュラン 行動と責任の憲章』: 購買の「A better way forward」
- パフォーマンス評価
 おわりに

付録

24

- クオリティ-製品の審査と認可の流れ
- CSR評価スタンダード



はじめに

ミシュランは、『ミシュラン行動と責任の憲章』内で述べた基本的な価値観に基づき、会社として設立されました。設立以来、単に、この会社を導くだけでなく、社会全体のモビリティの向上を目指した品質の高い製品とサービスを提供しつづける企業文化とその名声を築きあげた石柱となったのが、他ならぬ、この基本的価値観です。

サプライヤーの文化と興味を尊重する中で、長期的な関係を育むことが、戦略的に重要と考えています。

この『ミシュラン購買原則』は弊社の基本的な価値観を反映したものであり、ミシュラングループ及び購買チーム並びに全てのサプライヤー間の信頼関係を築く上で重要なものと位置付けています。共有すべきガイドラインをこのような形で編纂することで、お互いに参照すべき参考資料として誰にでも提供できるものとなっています。

本ガイドライン単独では包括しきれない部分は、社員個人の明確な責任意識と合わせることで、ミシュランだけでなく、すべてのサプライヤーに対する有益なるロードマップを提供し得るものであると考えます。

『購買原則』は社内、社外において我々の行動規範を提供し、正しい意思決定を導き、そして日常における我々の価値観を正しく表現することを手助けするものでもあります。

まさに、このガイドラインに則りルールを遵守することが我々の責務でもあり、これにより、我々の誠意と高い倫理観を導いているのです。さらに、我々は、パートナーとの間の信頼と尊敬を高め、お互いの価値を高めて行きたいと考えています。

価値を高め、高い倫理基準を遵守することで、購買チームはサプライヤーとの間に大切な相互関係を築き、そして、サプライヤーと共に、継続的な発展と卓越した成果を求めて行きます。

Luc Minguet
Directeur Général Achats Groupe



A stylized graphic of an olive branch, rendered in a dark olive green color against a bright yellow background. The branch curves from the bottom left towards the top right, with several rounded, leaf-like shapes along its length.

ミシュランの原則と価値観

創始者のビジョンを原動力に、ミシュランは絶えずモビリティに貢献して参りました。弊社は「A better way forward」をスローガンとし、会社発展の中心的価値観「**顧客の尊重. 人々の尊重. 株主の尊重. 環境の尊重. 事実の尊重**」に基づき、より良く使命を実現するために、大胆なイノベーションと品質の保証に取り組んでいます。

『ミシュラン行動と責任の憲章 (PRM)』は2002年に発表され、弊社運営の指針となっており、弊社のパフォーマンスとイノベーションスタイルを創出します。

『ミシュラン行動と責任の憲章』：「A better way forward」は企業文化を樹立し、持続可能で、バランスがとれ、責任を持った発展への取り組みの原則の約束を調和させています。

全てのプロジェクトを整合し、企業全体における連係関係を構築します。このようなシステムチックなグローバルスタイルはミシュランのビジョンを体現しており、長期的な発展を実現すると同時に、業務パフォーマンスや環境管理および我々の約束（社員とパートナー間のクオリティ関係の持続）との間のバランスを維持します。

『ミシュラン行動と責任の憲章』中の原則：「A better way forward」は以下を体現します。

ミシュラン特有の専門知識：

- 顧客のニーズを傾聴し、それを満たす。
- グループの利益のために貢献する。
- 弊社の業務を世界各地で展開している各国とコミュニティに完全に調和させる。
- 弊社の業務をよりエコロジーにする。
- 弊社の商工パートナー及びサプライヤーと誠実かつ信頼できる関係を構築する。

独特な文化

- 人々を尊重。
- 品質の保証。
- イノベーションの推進。
- 持続的な発展。
- 事実の尊重。
- 長期的なビジョン。

このような長期間にわたって形成された価値観は、弊社が現在および将来に直面する大きなチャレンジを成功させるための確固たる基礎を打ち立てています。





ミシュランの購買原則

ミシュランと提携するサプライヤーは、品質、コスト、納期、信頼性について弊社基準に適合し、また他人の尊重、環境の尊重を約束できることを必須とします。上述のように、弊社とサプライヤーの関係は『ミシュラン行動と責任の憲章』内の中心的原則である「A better way forward」の導きを受けています。同時に、このような関係は公平、公正、忠実の原則に従っています。

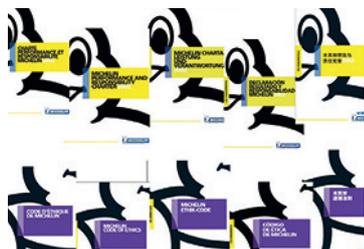
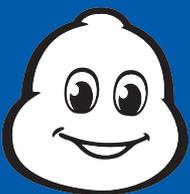
弊社はサプライヤーが『購買原則』で言及する我々の関係の主導となる基礎的な原則を熟知し、互いの尊重を確かなものにすることを期待しています。

使命

購買部門の使命は、我々の技術とコスト要求を満たし、また環境保護と社会の期待に一致するサプライヤーの選択を通じ、内部顧客が必要とする製品及びサービスの可用性を保証することにあります。

サプライヤーと長期のパートナー関係を築くことも我々購買チームの使命の一部です。これは我々とサプライヤー間でより多くの情報の共有と更新が可能であり、品質の保証、定期的な情報更新の提供、また共同発展とイノベーションを意味します。

我々の目標はグループ運営の競争力を促進し、同時に『ミシュラン行動と責任の憲章』と『グループの倫理規定』で提示している中心的価値観を普及させることです。



サプライヤーリレーションシップにおける倫理規定と腐敗防止の行動規範

“ミシュランがビジネス展開するあらゆる国において、我々の目標は一貫性を持って我々のプロフェッショナルリズムを示すことにあります。ミシュランの『倫理規定』と『腐敗防止に関する行動規範』は弊社の『行動と責任の憲章』と内に記されている基礎となる価値観の上に成り立っています。弊社の『倫理規定』と『腐敗防止に関する行動規範』は職場内の各種の行動、活動のスタンダードを定義し、また我々の決定に正確なガイドラインを提供することで、倫理的また腐敗防止に関する状況において適切な行動を可能にします。これらの『規定』はミシュランスタッフが遵守すべき政策を明確に要約しています。”2014年『倫理規定』のマネージングパートナーのあいさつと、2016年の『腐敗防止に関する行動規範』より抜粋

本『倫理規定』と『腐敗防止に関する行動規範』はグループの関連ビジネスモラルと個人のマナーに関する政策を略述しています。これらのルールは『ミシュラン行動と責任の憲章』内で言及するガイドラインを補足し、完全なものとしています。

『倫理規定』はミシュランコミュニティ全体に基本的価値観と行動規則を注ぎ、この二つはグループ及びそのステークホルダー間に不可欠で、信頼関係構築に必要な基礎を打ち立てています。

本文中、我々の目標は『倫理規定』で示すモラル規定と職務マナー、腐敗防止が購買部門全体、また全ミシュラン社員がサプライヤーや下請企業との関係性において適用できているか否かをチェックすることにあります。

私たち全員がミシュランのイメージの代表であり、**関連の購買倫理規則と職務マナールール**を完全に遵守しなければいけません。ミシュランの評価は私たちの行動によって決定します。

国際原則の順守 (国連グローバル・コンパクトと人権)

PRM原則: 我々は以下の三つの原則に基づいて、ミシュラングループの世界での事業を進めていきたいと思えます。

- 会社における連帯感と意欲の源となる強力でオープンかつ好感を呼ぶ企業文化を守る
- 責任ある仕事を通じて、社員の成長と自己実現を図る
- 事業を展開している国の法令と文化を常に尊重する

また、我々は国際労働機関 (ILO) の原則に完全に従い、児童労働と強制労働に反対いたします。

我々は、生産、販売事業を展開している国々で大きな責任を担っている事を自覚しています。世界のどこで事業を行うにせよ、我々は、人々と法を重んじる責任ある誠実な企業として行動いたします。

また、私たちは、社会と地域経済の一員として、自ら生産・販売拠点を常により良く調和させたいという意思を表明していますが、このことは、生産活動に伴う環境汚染の低減目標を着実に達成し、事業拠点の運営に関する法規の遵守に大きな注意を払い続ける事で達成することでしょう。(PRM2002、価値観の実践)

2010年グローバルコンパクトを固守し、ミシュラングループはすべての事業展開する国において人権を尊重することを保証いたします。また、このグローバルコンパクトの推進も保証いたします。

さらに、ミシュランは以下のような国際的ルールを守ることを保証いたします：世界人権宣言、国際労働機関 (ILO) の基本的ルール、OECDの人権、環境の保護に関する指導要領と汚職に対する反対。

ミシュランは労働環境や人権の尊重を保証し、ILOの基準や各国の法律や規則を守り、安全な労働環境を提供することを保証いたします。

ミシュランは産業を振興する場合、環境破壊を防止し、改善に協力し、その国の発展に協力することを保証いたします。

ミシュランは関連サプライヤーやサービス提供者にも以上定義された倫理規定を尊重させることを保証いたします。特に、彼ら自身の供給業者と下請業者にも人権を尊重させることなど同原則遵守を促進いたします。

特に、関連供給業者と下請業者に以下の項目を尊重するよう依頼します：

- 世界人権宣言の国際規定、国連グローバルコンパクト、OECDの指導要綱
- その国の労働法律を守る（報酬基準、労働時間、集会の自由）
- ILOの基本的ルール、特に児童労働、強制労働、集会の自由の尊重、集団交渉の権利、差別禁止の協定
- 人権の尊厳を満たす労働環境の保証
- 設備周辺の個人およびコミュニティのセキュリティや安全を保障する為のルールの尊重
- ミシュラン現場での安全ルール適用

ミシュラングループによるこの保証は、従業員やパートナー、地域コミュニティに対する責任と論理的な点からの実行に協力し、尊重されなければいけません。各人に対しての用心や関与は長年に渡るアプローチには必ず必要となります。

法律と法規を遵守する

PRM原則：“常に我々が営業活動を展開する国の現地の法規と文化習慣を遵守すること。(……)どこであろうと、責任を持ち、誠実な会社となるために努力し、人と法律を尊重しなければならない。”(PRM憲章2002版、我々の価値観の実施)

ミシュラン及びそのサプライヤーは、その活動において、禁輸措置のような国際的な決定、法律、合意を適用する全法律と法規を完全に遵守することを約束し、購買チームのメンバー全員がその責任を負わなければならない。

利益衝突

PRM原則：我々は社員の社内外の生活において、責任との間で潜在的な利益衝突が発生することの予防を期待する。そのため、社員がミシュラングループの合法的権益に違反する可能性、或いは社員が社内の責任において多義を生む原因となる可能性のある個人、財務、ビジネス、またはその他の種類の活動への参加を避けることを期待する。”(PRM憲章2002版、我々の価値観の実施)

- ➡ サプライヤー、下請企業間の業務関係において、購買チームのメンバーとその他グループの社員は常にグループの利益、並びに関連の法律規定に基づいて自身の職責を履行しなければならない。
- ➡ サプライヤーと下請企業に対応する過程で、購買チームのメンバーとその他グループの社員は、個人或いは第三者を代表、その使命の範囲内で得た権限外のいかなる商業取引にも携ってはならない。
- ➡ サプライヤーがミシュランの顧客である場合、この状況を判断条件としてはならない。グループは購買と販売領域の利益の相互独立を維持しなければならない。

社員が以下の行為に携わった場合、利益衝突を引き起こす可能性があります：

- ミシュラン名義で、社員がその中で現在或いは将来に利益を得られる契約の交渉を行う
- ミシュランのサプライヤーがコントロールする会社内であらゆる種類の財務利益を有する；
- ミシュランが現有するビジネスチャンスを利用して個人の利益獲得をはかる；
- 在職期間中に得たミシュランの機密情報を利用して個人の利益或いは利点の獲得をはかる。または第三者の為の利益獲得等。

その他の状況において、利益衝突が発生した場合、調達の代表はできるだけ率直に上級責任者に報告しなければなりません。

贈答品と招待

PRM原則：“常に我々が営業活動を展開する国の現地の法規と文化習慣を遵守すること。(……)どこであろうと、責任を持ち、誠実な会社となるために努力し、人と法律を尊重しなければならない。”
(PRM憲章2002版、我々の価値観の実施)

- 贈答品と招待は、サプライヤー或いは下請企業に対する購買担当者個人の客観的決定に影響を与える可能性がある。
- そのため、社員はサプライヤー或いは下請企業から贈られるいかなる贈答品も受け取ることはできない。その中には金銭、物品、サービス、娯楽、旅行またはあらゆる形の贈答品が含まれる。
- ただし、社員は合理的な低価値の企業の贈答品を受け取ることはできる。(例：販促資料、時々の食事、社会的な集まりの招待、サプライヤー或いは下請企業が主催するイベント等の参加。)
- もし、贈答品または招待がその国の慣習にとって避けられない場合は、バイヤーは適切なフォローアップを与える事ができる上長に連絡をする事とする。
- このような場合において、贈答品と招待については現地の法律と規則に従って購買部によって登録をしなければいけない。いかなる場合においても、贈答品を受け取る事がバイヤーの決定について影響を与えてはならない。

政府の関係と反腐敗

PRM原則：“我々は、営業活動が全世界のどこで展開されようとも、それが公または個人的な組織或いは機関に関わらず、いかなる形の腐敗にも断固として反対する。実際のサービスに関連し、正当な金額で、規定に則り、会社の会計に記された報酬を除き、第三者からのいかなる不明な報酬も拒否する。”
(PRM憲章2002版、我々の価値観の実施)

ミシュランは、直接的にも間に仲介者が入る間接的なものでも、公務員、政府関係者、政治家或いは政党またはいかなるその他の公職職員からのあらゆる形式のわいろや不法な報酬を拒否します。

これは、例えば、社員は政府職員、公務員或いは公共機構の代表のミシュランに有利な決定に影響を与えるいかなる旨の提供、またはミシュランへの不公平な有利となるコミッション、割引、リベート、コンサルティング費或いはサービス補償(現金または財務利益による形式)の提供、同意をしなければならないことを意味します。もし仲介或いは外部コンサルティングを通じてこの種の行為を行った場合、同じく違法とみなされます。

この分野の法律の遵守を確実にするため、購買部はグループの『倫理規定』『腐敗防止に関する行動規範』等に記載されているより精確な規則を適用する。

機密保持

PRM原則：“我々は機密保持を一種の責任とし、いついかなる時も、顧客、株主、ビジネスパートナー、社員並びに我々グループの利益を適切に守らなければならない。”(PRM憲章2002版、我々の価値観の実施)

ミシュラン購買グループのメンバーは秘密を守らなければならないグループのデータを得る可能性があり、一度露呈或いは公布が早過ぎた場合、グループに損害を与える危険があります。この種のデータには製品情報、研究開発、専門技術、製造或いは経営と販売項目、財務データ並びに未来の戦略、問題解決の方針、予算或いはその他非公共範囲の計画情報等が含まれます。

全社員は直接或いは間接的に社外へこの種の情報を伝達せず、または権限を受けていない社員へ公開しないことを守る責任を負っています。

同様に、諮問過程で得るサプライヤーの情報は、厳格にその秘密を守らなければならない、特に競争相手に漏れさせはなりません。

交渉過程で、ミシュラン及びサプライヤーは秘密保持合意を締結することができます。

公平な競争

PRM原則：“我々は全企業に法律の遵守を提唱し、公平なビジネス競争を行っています。”(PRM憲章2002版、我々の価値観の実施)

ミシュランは透明なプロセスと客観的なスタンダードを通じ、商品とサービスの下請企業、サプライヤーを選択することに努めています

ミシュランは以下の自由競争に関するルールと原則を遵守しています：

- 入札依頼書(RFP)を全サプライヤーに同時に送り、またすべて同日の回答を要求する。
 - サプライヤーのリストは秘密にし、落札後であってもこれを守り、特にサプライヤー間の価格独占を避けなければならない。
 - 入札依頼書内に関わる全サプライヤーに完全に同様の文書を同時に発送しなければならない。サプライヤーが入札過程でより多くの情報の取得を希望する場合、必ず調達代理、或いは入札依頼書内の指定の技術マネージャーに申請しなければならない。
 - 公平性の考慮により、サプライヤーに対するいかなる問題の解答、及び本来の入札依頼書に対する理解強める可能性のあるいかなる付加情報(特定のサプライヤーの具体的解決案に及ばない)も、競争入札に参加する全サプライヤーと共有しなければならない。
 - 主要なプランの代替或いは補足となる意見書の提出を奨励しなければならない。
 - 全ての入札依頼書の機密を守らなければならない。そのため、ミシュランの書面許可を経ず、サプライヤーがこの種の文書を第三者へ渡すことを固く禁じる。
 - 入札期日の延長は、通常全サプライヤーに対して行われる。
 - サプライヤーが回答した価格、条項、その他技術の詳細を他の関連するサプライヤーと共有してはならない。すでに入札者が決定した後も同様である。
 - 入札者の基準は価格のみの要素で決定してはならず、購買代表とユーザーはあらかじめ設定された条件に基づいて入札者を選出しなければならない。
 - ミシュランは最低価格のソリューションではなく、最も効果的に問題を解決するプランを選択することを約束する。
 - 入札できなかったサプライヤーに対し、その参加に感謝しなければならない。なぜその入札案内が選ばなかったのかについてのフィードバックを行うことにより、将来に生かすことができ、不公平感を回避する。
- 購買部門は必ず入札と決定の全プロセスに参加しなければならない。

虚偽

PRM原則：“常に我々が営業活動を展開する国の現地の法規と文化習慣を遵守すること。(……)どこであろうと、責任を持ち、誠実な会社となるために努力し、人と法律を尊重しなければならない。”
(PRM憲章2002版、我々の価値観の実施)

内部虚偽はミシュランの運営に対し、重大な脅威となり、会社に対する評価と業務にマイナスの影響をもたらします。

ミシュランはいかなる虚偽、不誠実、並びにあらゆる形の犯罪活動も固く禁じ、この原則に違反する社員は民事或いは刑事訴訟の対象となります。

ミシュランは“グループの反虚偽規定”を公布しており、全グループ企業と全社員のグループの反虚偽要求の共同理解を確かにすることで、虚偽行為をくじく効果的な保障措置を展開しています。

調停

サプライヤーは初期段階の討論後、ミシュランから納得のいく回答が得られなかった場合、サプライヤー-顧客関係調停人の協力を求め、スピーディーに問題を解決することができます。購買部門の品質責任者が仲裁の処理を担当します。

サプライヤーが社内の通常担当者(例：入札を担当する購買の代表、財務部門或いはコントラクトマネージャー等)を通じて問題の解決を試みた後のみ、調停員が介入できます。調停員はこの原則に一致しないいかなる要請も考慮しません。

サプライヤーはEメールにて下記のアドレスに仲裁プロセスに入る正式な申請を送信することができます：
<https://purchasing.michelin.com/en/purchasing-mediation/>

内部調停員の協力の下で解決案が得られない場合、双方が通常の外部調停員サービスの利用を承諾するものとなります。

結論

購買の代表は、その責任者に対し明確かつ率直に報告しなければならない。行動過程でいかなる問題或いは疑問がある場合、必ず随時その責任者に連絡しなければならない。

サプライヤーの審査と認可

本章は新たなサプライヤーにのみ触れます。

グループ内部は既定のプロセスに基づいて新たなサプライヤーを追加します。このプロセスの目的は、ビジネス、技術、クオリティ、期限、サステナビリティにおいて予想されるポテンシャルと能力について、ミシュランが満足するものかを検証することにあります。審査と認可を通過したサプライヤーは前文で言及したミシュランの価値観を遵守しなければなりません。

このプロセスには以下の内容が含まれます：

初期段階の評価

まず調査アンケートを利用して、ミシュランが潜在的なサプライヤーを評価します：

- 財務と経済状況；
- クオリティ方針；
- ミシュランの技術規格への適合能力；
- 誓約 (commitment) と持続可能な発展方式；

この初期段階の評価は以下の方法を通じて補足が可能：

現場見学

現場見学は初期段階の評価の機会を提供し、またより多くの情報(必要であれば)を得ることができます。内容として以下が含まれます：

- サプライヤーの監査；
- 一か所或いは複数のサプライヤーのオフィス或いは工場を見学；
- ミシュランの工場でのテストを行う

審査と認可を通過するため、サプライヤーが同意すべきこと：

- 評価アンケートに応じ、適切に記入する；
- 本ガイド内の原則と要求を遵守する；
- 現行のISO 9001の要求に一致するクオリティマネジメントシステムを設置する。ISO 9001、ISO 14001、TS IATF16949の標準認可を通過していれば、サプライヤーセレクションにおいて有利になる可能性がある。(原材料のサプライヤーとして登録されるには、ISO9001の認証が要求される。また、ISO14001の認証は不可欠な進歩エリアとなる。)
- CSRへ取り組みを実施している (例：ISO26000)
- ミシュランチームの現場監査と技術視察を許可する
- 下請企業が本文書内の原則と要求の遵守を確実にする；
- 事前にミシュランに以下の情報の変化について通知する：
 - 製造技術クオリティシステム或いはアウトソーシング；
 - 企業組織(生産拠点、合併、買収、関連会社等)

サプライヤーが承認を得られますと、ミシュランが行う競争入札のプロセスに参加できます。

注：商品またはサービスのプロダクトライフサイクルについての分析情報の提供を要求する場合があります。



品質

クオリティ文化

“一世紀超以来、ミシュランは常にどのマーケットセグメントにおいても最も優れた価格で最も優れたタイヤを提供し、またサービスクオリティスタンダードを設けている”
『ミシュランのクオリティ原則』より

この目標は、私たちが毎日顧客の製品或いはサービスクオリティに対する期待を満足させ、予測することを必要とし、また同時に私たちが絶えず自身をブラッシュアップすることを推進しています。我々の購買チームとサプライヤーは共に、全製品がスムーズに納品されること-どこから或いはどこへ発送されようと-全てのサービスが顧客の要求を等しく満たすことを確実にする責任を持ち、またミシュランのクオリティ声明を含むグループの価値観と一致しなければなりません。

私たちは共に、資源の整合、コストマネジメントに努め、製品の卓越したクオリティを約束します。

ミシュラン及びそのサプライヤーは協力して製品のクオリティ向上に邁進しなければなりません。

原則

ミシュラン設立以来、私たちが常に守り続けている文化とは、強い責任感です。これは私たちのあらゆる製品とサービスの安全及びクオリティにおける妥協を許さない態度を示しています。

顧客に良質な製品とサービスを提供することは、私たちの絶対的な強みです。これは非常に高い割合で、私たちが外部から調達する原材料とサービスによって決定されます。

サプライヤーは品質保証システムの方法を明確化し、ミシュランのクオリティ政策をサプライヤーリレーションシップ、また製品調達とサービスクオリティマネジメントに応用します。このシステムはミシュランの長期的パフォーマンスを確実にすること、またグループの戦略的挑戦を可能にすることにおいて非常に重要です。

このシステムを通じ、ミシュランは以下を期待します：

- 必要な条件を構築し、サプライヤーと共に調達した製品と提供するサービス全てがライフサイクル中良好なクオリティの維持を確実にする。
- サプライヤーと相互の信頼関係を基礎に、安定的かつ継続的な関係を築く；
- サプライヤーを促し、そのクオリティマネジメントのプロセスを絶えず向上させる；
- サプライヤーのイノベーションと/或いは相違に対する意見とアドバイスの提供を奨励する。

製品の審査と認可

クオリティリスクバランスに基づき、ミシュランは一か所或いは複数の工場の製品を審査し認可します。審査と認可を得るため、サプライヤーは最優遇価格でミシュランのクオリティ、数量、期限、関連するサービス、再現可能な分野の規格要求の製品を提供できることを証明しなければなりません。

審査と認可を必要とする製品とは、以下のモノを指す：

- ミシュランの仕様に基づいて記述されたもの；
- 規定のプロセス、生産ライン或いは機器を利用して製造されたもの；
- 特定の工場内で生産されたもの。

製品の審査と認可のプロセスは、付録内の記述を参照ください。

現在の生産

現在の生産に対して、ミシュランはサプライヤーが逐次下記のパフォーマンス目標を満たすことを期待しています：

“指定の期限内に、最優遇価格で欠陥ゼロの製品を100%納入し、或いは規格に一致したサービスを100%提供する”

納入した商品とサービスはすべて発注書の条項の契約、また規格内で定義される要求と完全に一致していなければなりません。要求と一致しない製品或いはサービスの提供を厳禁とします。

この段階で、サプライヤーとミシュランは以下のものを交換する：

- 各調達、サプライチェーン、技術担当の連絡情報；
- 各詳細な銀行のデータ；
- 作業言語、ITインターフェース(EDI、発注書処理、サプライチェーン等)を含むコミュニケーションプロセスの情報；
- 危機管理における情報。

1. パッケージ-運送

納入する製品の必須条件：

- 規格明細或いは注文書/納入依頼書内で必要とする全情報を含む、**事務書類を添付する**；
 - 搬送、保存、運送過程で、**必ず完全かつ統一したパッケージでなければならない**；
- 個体、小口貨物のパッケージは必ず発送する国の法令要求に一致していなければなりません。

製品の異なる条件と性質に基づき、サプライヤーとミシュランはコンテナタイプ、使用するパッケージの材料、搬送過程、商品返却、リサイクル可能等のパッケージに対する合理化を共に定義します。このプロセスは、コスト削減、また環境保護の助けとなります。

2. 納品

サプライヤーは発注書の生産量或いは期限とのあらゆる不一致の状況をできるだけ早くミシュランに通知しなければなりません。

一度納品に相違があれば、サプライヤーは納品前に指定のミシュラン購買、サプライチェーン担当者による検査を申請しなければなりません。その後、ミシュランがリスク分析を行い、後続の作業をどのように進めるか示します。

サプライヤーは超過輸送費が発生した場合、ミシュラン或いはサプライヤーの支払いかどうかに関わらず、必ずミシュランにすべて通知しなければなりません。またサプライヤーは要求に従って納品総括報告を提供しなければなりません。

3. クオリティ保証-製品の規格

サプライヤーは製品の納入並びに提供するサービスのクオリティに対し、全責任を負う。

サプライヤーはクオリティシステムプロセスを実施しなければならず、また効果的な検証により、必ず納入する製品、サービス全てをミシュランの指定する要求と一致させます。

ミシュランがサプライヤーに要求できる事項：

- 製品の品質に関し責任を持つプロダクトマネージャーの確認
- 生産コントロール、モニタリング計画、統計ツール、資源の表示とトレーサビリティ、製品保護、並びに製品の特性、マネジメントの合格と不合格を含む、クオリティマネジメントプロセスと文書に関する情報の提供。
- 実験室の検証 或いは修正の参加；

- ミシュランに納品した製品が内部で不合格であったため、手直しを行った時の報告或いは分別；
- 毎回納入した製品のサンプルを分けての発送；
- 指定の期間内に納入した製品納入口ットごとのサンプルの提供；
- 規定の期間内の製品/プロセス結果の確保；
- ミシュランが全部或いは一部のクオリティマネジメントシステムを確認することの許可。

ミシュランは、これらの事項が適格に実施される為のパラメーターを定める。

すべての製品に対して、ミシュランはサプライヤーと共に毎回納品時に提供する文書の種類とその種類の文書の内容、送信方法を定義しなければなりません。例として以下のものが挙げられます。

- 送り状；
- 以下の情報を必ず含んだ分析証明書(Certificate Of Analysis)：
 - 注文書、荷物と製品マーク
 - 納品数量
 - 荷物のテスト結果
 - その他

ミシュランとサプライヤーが共同で定義した必要なCOA情報のリスト；以下が含まれます：

- 合格証明書；
- 製品合格標示。

以下のパフォーマンス評価指標を利用したクオリティ評価：

- ミシュランとサプライヤーによって確立；
- サプライヤーの定期的追跡と報告。

ミシュランはいつでも内部審査を行うことができ、これによりサプライヤーが提供する情報を検証します。虚偽のデータを提出した場合、供給関係の停止を引き起こす可能性があります。

4.クレーム処理方法

サプライヤーはクレームを処理し、また効果的かつスピーディーに問題を解決しなければならない。

欠陥が、受け取り時或いは使用過程で見つかった場合、賠償請求の申し立てが可能です。

全てのクレームは根拠となる証拠と/或いは不合格のコスト計算を提供しなければなりません。ミシュランはサプライヤーに対し迅速に理解と解決のための不合格の製品の情報提供を行わなければなりません。

毎回のクレームに対し、サプライヤーは“ミシュランクレーム解決プロセス”内の全ステップを遵守しなければなりません。

- クレームを理解し、処理する；
- 製品に関連する決定に基づき、適切な行動をとる；
- ミシュランに以下の証拠を提供する：
 - 不合格製品による実際或いは潜在的影響(供給の継続性、ミシュラン製品の保護等)を解決する為の早急の措置；
 - 既に確定した欠陥の原因、また行った修正措置；
 - 不合格品が再び発生しないことの保証；
 - 修正措置の有効性の評価、また製品が現時点で完全に合格である証明。
- 規定の期限内に問題を解決。

あらゆる状況下で、ミシュランは以下の権力を保持する：

- サプライヤーに改善計画の検討を通知；
- サプライヤーに対し、余分な検証、貨物輸送、メンテナンス、仕分けと廃品処理、生産力の損失或いはその他プロセスで発生したいかなる費用も請求する；
- サプライヤー自らの費用負担の要求、特別な要求を満たすことで、製品の合格を確実にする。その中には監視コントロール計画の検証、結果証明、製品と技術性能評価及び修正措置の監査が含まれる；
- 修正行動計画に対する監査の実施。

5.改善の継続

現在ミシュランの製品を生産するサプライヤーは改善継続の全体計画を定め、早急にミシュランに送らなければなりません。

サプライヤーが証明すべきこれら項目に積極的に参加することを期待しています：

- 全体のクオリティ計画により、核心を突いた実用的なクオリティ改善を実現する；
- コスト削減計画；
- 技術の監視コントロールと絶えず変化するニーズに対し予測を行う(安全、立法、クオリティ、サステナビリティ、生態デザイン等)これらの計画はサプライヤーに変化をもたらし、こういった変化或いは影響はミシュランの製品とサービスのパフォーマンスにもたらされる。

サプライヤーはできるだけ早くミシュランにあらゆる関連計画を通知する：

- 生産拠点或いはその構造の改正；
- プロセス、生産ライン或いは機器、投資、クオリティシステム或いは提供するあらゆるサービスの改正。

この情報はミシュランに提供する製品或いはサービスに影響を与える可能性がある為、いかなる変更が行われる前に必ず提供しなければなりません。

リスク分析の後、ミシュランはサプライヤーの革新或いは変更を検証するプロセスの線引きを行います。ミシュランが、計画の改正が工場内の製品の性能に影響を与えるとみなした場合、ミシュランは新たな審査と許可のプロセスを実施する権力を保持します。

サプライヤーとミシュランは変更後に製造された製品と提供するサービスについて、関連の条項の制定と進度調整の一致を行わなければなりません。あらゆる改正は必ずミシュランに提出し、事前審査と許可を行わなければならない、その中には必ずサプライヤーとアウトソーシングの全ての変更が含まれます。

6.サプライヤーマネジメント

ミシュランは供給関係で築いた信頼レベルをもとに、サプライヤーの定期的なモニタリングおよび監査を行います。

その結果により、また購買原則上の不適合があった場合、ミシュランは以下の方法を取る可能性があります。：

- 購入量の減少；
- その製品の許可を撤回する(一定期間内に製品が未納の場合もこのような状況が発生する可能性がある——ミシュランが製品の限度値を設定できる)；
- ミシュランの認可サプライヤーリスト内から該当するサプライヤーを削除する。



サプライヤーリレーションシップマネジメント(SRM)

グループの購買チームは、サプライヤーと積極的かつ優良なパートナーシップの確立に集中することで、ミシュランの具体的なニーズとチャレンジへ、効率良く対応できる購買戦略を構築します。

この戦略のカギとなる要素はコミュニケーション、協力、透明性、未来の“流動性”のビジョンの共同開発、私たちの現在と未来の活動における責任ある態度です。ミシュランのサプライヤーリレーションシップマネジメント(SRM)方針はこれらのカギとなる要素の基礎の上に成り立っています。

私たちのリレーションシップの効果的なマネジメントのため、サプライヤーを四種に分類しています。私たちのチームは異なるレベルのリレーションシップを開発し、また各カテゴリーに以下の具体的なツールを指定しています：

- **レベル1：**イノベーションと/或いはパートナーシップ項目に基づいた全面的な戦略的関係の確立。
- **レベル2：**ウインウインの競争的優位を獲得するビジネスリレーションシップの発展。
- **レベル3：**改善継続を基礎とする現在の関係の最適化。
- **レベル4：**互いを尊重する確かなビジネスリレーションシップの追求。

このようなパートナーシップ方式の意義は、ミシュラン及びそのサプライヤーが改善計画の設定と長期的効果の測定を通じ、そこからより多くの価値を築き、シェアすることにあります。

業務継続マネジメント(BCM)

ミシュランはすでに具体的なプロフェッショナルスキルを開発することで、絶えず自身の能力を高めており、重大な危機に直面しても業務運営を維持することができます。サプライヤーリレーションシップのフレーム内で専門知識を蓄積するだけでなく、私たちの業務継続マネジメント(BCM)プロセスは原材料、生産データ、さらに設備とサービス中断のリスクを解決しました。

価値のシェアの成立を通じ、BCM方式は奨励を通じたサプライヤーのBCM実施を重視することで、事件或いは危機の影響を最大限下げ、最終的に根本からリスクを回避します。

私たちはBCM監査を展開し、私たちのサプライヤーも実際に高効率のビジネス継続計画を有しています。



ミシュランのCSRポリシー 「A better way forward」

サプライヤー及びその下請企業とのクオリティ関係を守ることはミシュランの企業としての社会的責任(CSR)の一部です。

サステナビリティ原則の整合と応用を通じ、ミシュランはすでにそのサプライヤーと長年にわたり互いに信頼し合う調達関係を確立しています。

サプライヤーとウインウインの関係を築くため、私たちは下記のサステナビリティ政策内の原則の遵守、またこれらの原則をサプライヤー自身のサプライチェーンに用いることを求めます。

以下にこれら原則の記述、またミシュラン購買部門がサプライヤーリレーションシップの中で実施するグループの価値観の方式を提示しています。本グループ、調達チームとサプライヤーに対し、「A better way forward」が意味するものとは：

ミシュラン特有の専門知識

顧客のニーズを傾聴し、それを満たす

サプライヤーは正確で、終始一貫し、信頼できる対応によりミシュランのニーズを満たし、そこから私たちの顧客の期待の満足をサポートします。

グループの利益のために貢献する

購買部門は全体の所有コストを分析し、最も優れた業務パフォーマンスを獲得します。この部門は特に提供する製品とサービスのクオリティがグループの要求に一致していることを重視します。また、製品寿命のコスト分析をする事により、その商品、サービスを使い続ける間に発生するコスト全体を把握する事に役立ちます。

弊社の業務を世界各地で展開している各国とコミュニティに完全に調和させる

PRM原則：“全社員が各自の職責を履行し、我々の商工業活動が行われる多元的な経済社会環境の中でバランスの整合の実現に努める。”(パフォーマンスと責任憲章, 2011年)

ミシュランは全世界で活動しておりますが、適合した分野では、メジャーな国際的サプライヤーに加え、現地サプライヤーから極力調達をいたします。しかし、その現地サプライヤーについては、ミシュランが求める要求事項を満たし、持続的発展についての原則に従う事を求めます。

弊社の業務をより環境配慮型にする

PRM原則：“我々のイノベーションへの情熱は製品の環境性能向上に大いに貢献している。我々はタイヤのエネルギー効率を通じてガソリンの節約を実現し、タイヤの耐久性を通じて原材料の使用を減らし、絶えずこの二者間において最適なバランスを追求し、同時により安全な製品を提供する。”

“各生産工場において、我々の生産活動の影響をコントロールするよう、環境性能を管理する。我々は法規制の遵守を保証する。”(パフォーマンスと責任憲章2011年)

増大する原材料の不足や気候変動との格闘という状況の中、モビリティは更なる進歩をする必要があります。天然資源、エネルギー材料、水源への影響は、循環型経済への取り組みを用いたタイヤのライフサイクルを通じて改善をされます。ミシュランの提案は、資源の更なる有効活用を推奨する解決方法を組み合わせる事により、タイヤのライフサイクル全体で4つのアクションを同時に行う事にあります。これを4R戦略と呼びます。4つのRとはReduce (使用する資源の量を、材料の最適使用により、同等の性能を達成する事で減らす)、Reuse (原材料の削減につながるリペアリング (Repairing)、リグルービング (Re-grooving)、リトレディング (Retreading))、Recycle (タイヤの再利用、再生産プロジェクト)、そしてRenew (再生可能な原材料の割合を増やす) を指しています。

環境保護そしてサプライチェーン全体での環境リスク限定に関して、我々はサプライヤー及びその下請企業が以下を行うことを期待しています：

- 所在地の国と地域で現行のスタンダードと法規、またミシュランの製品販売と代理販売を行うあらゆる国と地域で現行のスタンダードと法規を遵守します。特定の項目或いは特定の区域に対し、私たちはサプライヤーにより厳格なミシュランスタンダードを要求します
- 環境マネジメントシステムを実施し、自身の運営活動が生み出す環境に不利なあらゆる影響の測定を認めます
- 廃棄物、毒物、危険物、梱包を製品のライフサイクル全体と通じて削減と効率的に管理する
注:ヨーロッパの化学薬品を扱う全てのサプライヤーは、REACH規則の遵守と、追跡可能性と申告に関する法的責任を満たす事とする。;
- 温室効果ガスの削減する。;
- 天然資源、生態系、種の多様性の保護する。;
- 製品のライフサイクルを通して環境への影響が比較的少ない製品とサービスの開発する。一方、品質の維持または向上を図る。;
- ミシュランによるライフサイクル分析と共同する。

これらの取り組みはサプライヤー自身の活動だけに留まらず、サプライヤーの協力会社ヘグッドプラクティスとして推奨することを約束してください。また、サプライヤーのサイトからの、またはサイトへの移動手段における二酸化炭素の排出削減は、特別な注意を払うようお願いいたします。

サプライヤーと誠実かつ信頼できる関係を構築する

PRM原則：我々は公平な契約条件を基礎に、我々の産業、ビジネスパートナー、特にサプライヤーと誠実かつ信頼できる関係を構築し、業務パフォーマンスの向上と長期的パートナーシップの構築間の最適なバランスの到達に努める。”(パフォーマンスと責任憲, 2011年)

ミシュランは全サプライヤーと誠実で信頼できるパートナーシップを構築します。

私たちはサプライヤーに以下を期待します：

- 経営の透明性、また競争に関連する法律との一致；
- あらゆる腐敗の根絶；
- 知的財産の保護；
- あらゆる交換情報の機密性の保証。

ミシュランは事業展開する国の法律や規則を厳密に守り、また信頼できる態度をもってサプライヤーからの請求書へ応じる事といたします。

信頼できる調達へコミットする

紛争地域からの鉱物

ミシュランはドッド・フランク法の規則、また鉱物の使用について非常に高い透明度が必要である消費者保護法に従っています。

このルールは、企業が製品の「機能性または製造」のために「紛争鉱物(conflict minerals)」を包含するかを開示することを要求されています。

「紛争鉱物」とはその生産地、加工地、販売地に関わらず、金とスズ、タンタル、タングステン(3T&G)、スズ石、コロンバイト-タンタル石、鉄マンガン重石を指します。この要求は、紛争鉱物の開発や取引によって

部分的に財政独立されたコンゴ民主共和国(DRC)やその周辺国での暴力的対立を人道主義的に終わらせることを目的にしています。

この要求を実現するために、サプライチェーンにおいて供給業者や下請業者に鉱物の生産地の確認や紛争鉱物のレポートが要求されています。

天然ゴム産業の信頼、持続できる管理に寄与する

天然ゴムの生産者や加工業者として、ミシュランは天然ゴム地域で以下五つのミシュラン購買原則を遵守し実行いたします

人々を尊重する

- 原則で述べた土地所有権の決案促進
- 生活や労働条件の向上。

環境を守る

- 森林伐採の反対
- 生ゴムの生産による動物、植物や環境への潜在的な影響の制御

農業実践を改善する

- サプライヤー、専門機関、ローカル共同組合や耕作者グループと一緒にベストプラクティスの促進
- 農業生産量を増加することへのアクション

慎重に天然資源を使用する

- 天然ゴムの有効利用

優れた管理を行う

- すべての不正、汚職との戦い
- 現地または国際的なstakeholdersとの話し合いを指導し、持続的な天然生ゴム産業の発展に寄与
- 透明な行動

環境そして社会に対する影響により、天然ゴムには特殊な取り組みが必要とされています。

「持続可能な天然ゴムに関する方針」は最初、全てのステークホルダー、特に環境保護と人権問題について専門的に取り組んでいるNGOの皆様の協力によってドラフトが作成され、2016年正式にグループのサプライヤーにとっての契約上義務のある参考書類となりました。この書類は、環境的見地からと社会人権的見地からの両方によって、ゴム生産についての詳細が取り決められています。(環境的見地: ゼロ森林破壊、泥炭地域同様にHCV(High Conservation Value:保護価値の高い)そしてHCS(High Carbon Storage:二酸化炭素を多く取り込む)地域の保全の事を指します。) (人権的見地: 労働環境、関わりのある住民の事前承諾の自由、事実についての十分な知識、等々を指します。) 我々は、天然ゴムのサプライチェーンに関わるすべての方々に、ゴム生産の道徳的な原動力維持の為に、責任のある社会的、環境的な取り組みを実践するようお願いをいたします。

ミシュランの地域の天然ゴム仕入れ原則のフルテキストは以下のURLよりダウンロードできます。

<https://purchasing.michelin.com/en/document-area/>

グループ-調達チーム、サプライヤーに対し、「A better way forward」は以下も意味します：

独特な文化

私たちの文化とは一種のサプライヤー及びその下請企業が特に重視する競争における優位性です。

人々を尊重

私たちはサプライヤー及びその下請企業が以下を遵守することを期待しています：

- インターナショナルスタンダード、特に『世界人権宣言』、『国連グローバル・コンパクト』及び企業と人権に関するOECDガイドラインならびに国連主導による原則；
- 各国の労働法における法律と規制条項(給与、就業時間、結社の自由等)；
- 国際労働機関(ILO)の慣例、特に未成年の労働者、強制労働と非差別の規定；
- 受容可能な労働条件を通じて人間の尊厳の原則を尊重する；
- その業務運営が社員と所在コミュニティの健康と安全に及ぼす影響を制限する、業務上の安全、健康と衛生の法規；
- ミシュランサイトに適用される安全規則。異常が認められた場合、問題のあったミシュランサイトのディレクターに連絡するのは、サプライヤーの義務となる。

イノベーションの推進

PRM原則: “オープンな心を維持し、イノベーションの実現に努める。クオリティはブランドの礎であるが、イノベーションはこれを、他をリードする卓越したものにする。”(パフォーマンスと責任憲, 2011年)

イノベーションは常にミシュランの戦略の核心となっています。私たちはすでにリード、また顧客に有利であり、かつ社会の変革に一貫したイノベーションを提供することで、工業と市場の発展推進において重要な作用を發揮しています。

ミシュランのオープンで、協力的で革新的なプロセスは、内部リソースやサプライヤーを含めた革新的なecosystemである。

各サプライヤーにイノベーションの実施を奨励し、共に価値を創造することは、購買部門の使命の一部です。

サステナビリティの実現

ミシュランは品質、コスト、時間及び信頼できるスタンダードを遵守し、また人権と環境パフォーマンスを継続的に改善することを約束するサプライヤーとのみ協力します。私たちは通常サプライヤーが制定する改善計画をサポートすることで、その製品とサービスの価値を高めます。

私たちは企業の社会的責任(CSR)分野のパフォーマンス評価を通じ、サプライヤーを慎重かつ定期的に追跡します。私たちの重要なサプライヤーがこれらの分野における具体的な目標の設定を保証することで、必要な評価情報を確保し、また必要なあらゆる修正措置を配置します。

またサプライヤーはミシュラン及びその正規な代表が現場監査を行う権限を授与します。

2012年より、ミシュランは主要サプライヤーのCSRパフォーマンスを評価しています。

品質監査の他、私たちは外部CSR評価会社の協力の下、サプライヤーのCSR達成レベルを評価しています。この評価はリスク分析後に行われ、サプライヤーがネットアンケートに答えて完了します。

SWOT分析は環境、社会と倫理問題を含み、行動計画の配置、或いは緊急性の度合いにより、よりターゲットを絞った現場チェックの実現が可能です。

よりターゲットを絞った現場チェックの実現が可能です。

ミシュランは、その継続的なCSRの取り組みの一部として、企業責任と持続的な発展戦略をアシストする革新的なツールの開発の為、デジタルテクノロジーへの投資を増やしていきます。

ミシュランは継続可能な調達パフォーマンスに対して細心の監視とコントロール、マネジメントを全面的に行い、またサプライヤーのCSR評価の結果公表を約束します。

長期的なビジョンを持つ

サプライヤーリレーションシップマネジメント(SRM)の一部とみなし、ミシュランとサプライヤーは長期的なパートナーシップを構築しました。私たちはサプライヤーリレーションシップの公平公正、さらに各方面に関連する最高の利益の考慮を期待します。

パフォーマンス評価

ミシュランは定期的に主要サプライヤーとパフォーマンス評価会議を行います。これらの会議の頻度と議事日程はサプライヤーと協議の上決定します。

これら会議の意義：

- 関連状況の検査と公表：
 - サプライヤーの業績報告。この包括的で事実を元にした報告には品質、誓約したパフォーマンス、製品供給の競争力、発展の促進、イノベーションと価値の上昇、企業の社会的責任及び業務継続マネジメント等の内容を含みます。
 - 継続的改善計画の中ですでに決定された目標と時間の調整；
 - 支払い条件、サプライヤーリレーションシップマネジメント、サプライチェーンマネジメント等を含む、サプライヤー、ミシュランリレーションシップのクオリティ評価。
- 私たちの技術とビジネスリレーションシップのビジョンへの調整。

結論

ミシュランは多国で業務を展開し、多角的な文化、法律と政治システムを示しています。

会社と全社員の基礎原則は所在する国の法律と法規を遵守し、また『ミシュラン行動と責任の憲章』内で提示する価値観と原則：「A better way forward」を支持することです。

本文中で提示するガイドラインは恐らく全ての国と地域の法律と習慣に完全に対応することはできないでしょう。現地の法律が定めるスタンダードが『ミシュラン購買原則』内のスタンダードよりも厳格である場合、現地のスタンダードを基準とします。

反対に、『ミシュラン購買原則』内のスタンダードがより厳格であった場合は、これを基準とします。

ミシュランのサプライヤーは、本文内で記述されている原則とガイドラインが私たちのビジネスリレーションシップの重要な構成部分であることを理解し、遵守しなければならず、サプライヤーはこれらの内容の活用を保証し、またコンプライアンスを実現する改善プロセスを展開しなければなりません。**度重なる警告を受け、サプライヤーが依然としてこれら原則とガイドラインを実施できない場合、ミシュラングループは双方のビジネス関係を終了します。**

注:購買原則は12の言語で発行され、全世界的に適用をされています。また、その内容には定期的に見直しが行われます。



MOVIN'ON
by Michelin





付録

クオリティ-製品の審査と認可のプロセス

クオリティリスクレベルをもとに、ミシュランは一か所或いは複数の工場の製品を審査、認可します。審査と認可を獲得するため、必ずサプライヤーは最優遇価格でミシュランのクオリティ、数量、期限、関連するサービス、再現可能な分野の規格の製品を提供できることを証明しなければなりません。

審査と認可を要求する製品：

- ミシュランの規格に基づいて記述する；
- ボーダーラインを用いたプロセス、生産ライン或いは機器の製造；
- 特定の工場内で生産

下記の文章内の『製品』は三種の対象(製品、技術、場所)を指します。

1.製品の審査と認可要求

審査と認可のプロセスを行うための、サプライヤーの必須条件：

- 関連内容及び納入製品の使用(例：EUで販売する化学製品のREACH(1)規則)を含む、**ターゲットの国の要求及び法律法令の制限に一致する**；
- **ミシュランルールに同意及びサインする** (技術規格及び必要なあらゆる識別、追跡、保護、パッケージ、運輸、納入、搬送等に関連する求め)；
- ターゲットの国の法律と法規要求に基づき、**規定の言語で健康と安全の情報を提供する**。製品の使用前に、必ずミシュランが上述の情報を検証しなければならない。
- サプライヤーはミシュランが定義していない製品特性が、製品の実際或いは予期される使用に必要であるとみなすように、**ミシュランが定義していない製品特性情報を記述、提供する**。

必要な状況下で、ミシュランはサプライヤーに以下を要求できる：

- **特別な情報を提供する** サプライヤーの監査アンケートを含む、内容として：
 - デザインと開発
 - サプライヤーマネジメント
 - 製造技術及びその安定性
 - 生産、メンテナンス、保存、パッケージ、貨物資源
 - 表示とトレーサビリティシステム
 - 通信資源(EDI(2)発注書処理とサービスを含む)
 - 材料の回収、搬送、処理
- **下記の要素の効果的なコントロールを証明**：
 - 生産プロセス(FMECA(3)結果、製造技術プロセス、工程能力：Cp,Cpk⁽⁴⁾)
 - 製造、保存、製品納入のクオリティ(製品合格管理・監視コントロール計画、製品の性能、クオリティ測定等)
 - 調達とアウトソーシング製品
 - 製品とサプライチェーンマネジメント
- **下記の事務のマネジメント能力の証明**：
 - 業務継続のリスク(必要な要求、特殊要求、緊急要求を満たす能力)
 - コンプライアンス違反とクレーム
 - 修正
- **ISO9001の認定がされている。ISO14001の認定については、サプライヤーによる進歩エリアの一部とする**。

ミシュランは技術検査或いは監査を行うあらゆる明確な要求の権力を保持し、実際に製品の重要性及びミシュランのサプライヤーの知識によって決定する。

上述の結果で製品の審査と認可のプロセスを継続するかを決定する。

(1) 化学物質の登録、評価、ライセンス、制限(EC 1907/2006)

(2) 電子データ交換

(3) 故障モード・影響及び致命度解析

(4) 工程能力及び関連指標

2. 製品の審査と認可のプロセス

サプライヤーが提供する情報及び製品の重要性をもとに、ミシュランは審査と認可の協議を構築し、その定義に以下を定める。:

- 種類別の製造工程;
- 現場及びミシュラン関連工場内で納品の製品数量;
- サプライヤーが提供するマネジメント、サプライチェーン、技術データのリスト;
- 審査と認可に用いる製品と関連のパフォーマンスレベル;
 - 内在属性(規格関連)
 - ミシュラン製造プロセス内の行為
 - ミシュランのニーズを満たす能力

その他、ミシュラン及びそのサプライヤーは以下の分野で一致していなければならない:

- 荷物の定義、表示とトレーサビリティ;
- 納入製品の品質記録及びコンプライアンステストの結果。

ミシュランは必要な資源の配置の責任を負い、タイムリーな方法で実行し、製品の審査と認可のプロセスを履行します。

製品があらゆる技術、サプライチェーン、ビジネスと通信の要求を満たしているとミシュランが確定すれば、当該製品に認証を授与します。

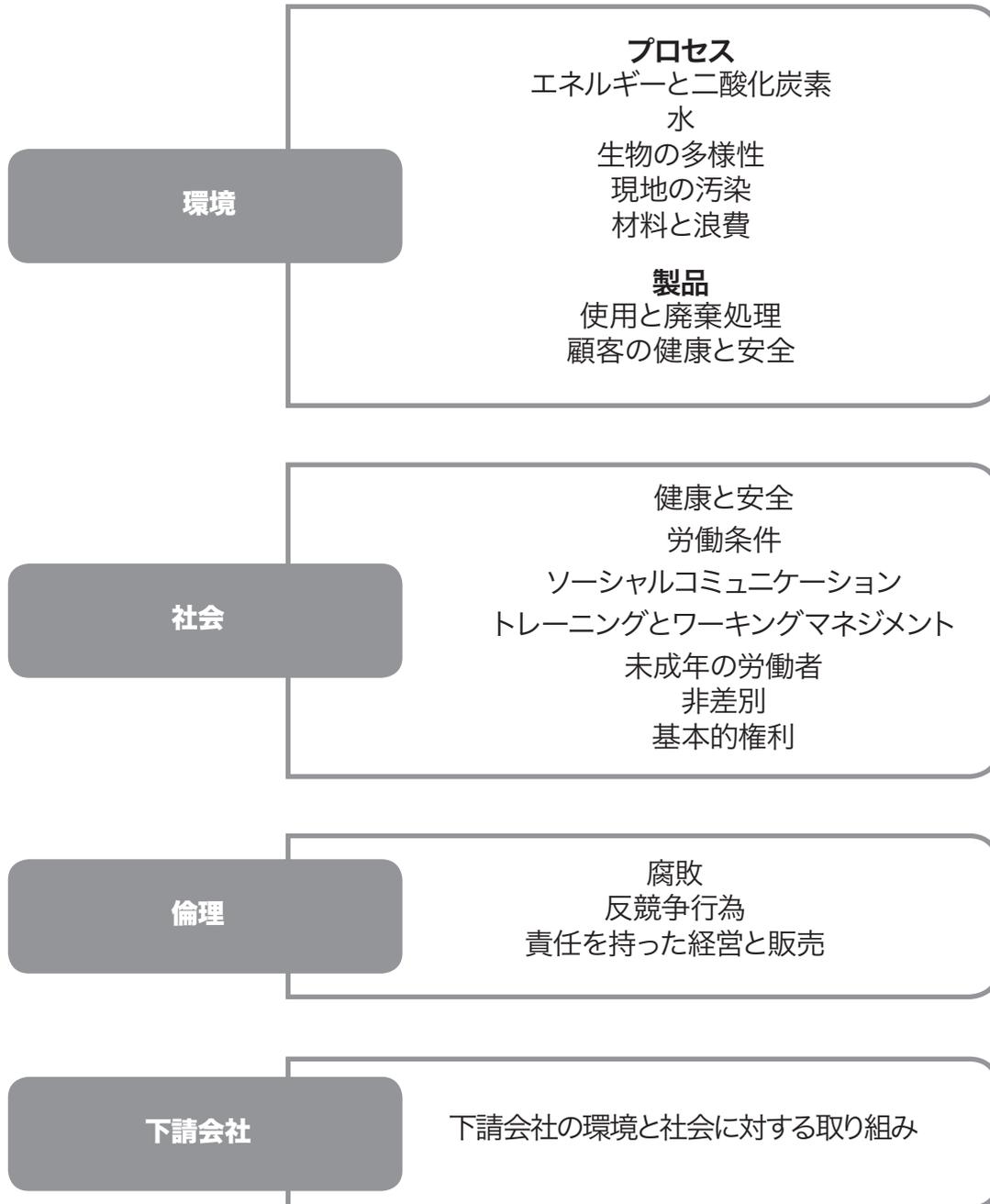
ミシュランが使用範囲の拡大を決定した場合、或いはサプライヤーが製品の変更を行った場合、この認証も相応の修正を行うことが可能です。

このような状況下では、リスク分析が必要で、特に所在する国と地域の法律法規を満たすかどうか、またあらゆる特定の現地の生産特性があるかどうかを確実にしなければなりません。

CSR評価スタンダード

採用する方法は、グローバル・コンパクトとISO 26000スタンダードの規定といった国際CSRスタンダードに基づいています。

四つの中心となるテーマに分かれます。可能な限りサプライヤーの業務内で問題提起されるものに沿った特定のスタンダードを保持します。



ミシュランの調達メカニズム グローバルネットワーク、27を超える国をカバー



4つの調達分野

- 原材料
- 天然ゴム
- 工業調達
- サービス

4つの調達分野

- ヨーロッパ
- 北米
- 南米
- アジア太平洋

より詳しい情報

□ 『ミシュラン行動と責任の憲章』：「A better way forward」
www.michelin.com/corporate

□ 弊社のサプライヤーのガイドライン(クオリティ、調達条項、条件等)
www.michelin.com/purchasing

ミシュラングループ購買部
23, place des Carmes-Déchaux
63040 Clermont-Ferrand Cedex 9 – France
+33 (0)4 73 32 20 00

